2026 年 8 月　ver.1.0

| | |
|---|---|
| 研究課題名 | 肝細胞癌に対する免疫細胞の機能・動態についての研究 |
| 研究の意義・目的 | 本研究は、肝臓癌の手術を受けられた患者さんの組織から既に取り出し、凍結保存されている免疫細胞（T 細胞）を用いて、その特徴や種類、動態を詳しく分析します。がんがある場所とない場所で免疫細胞の働きにどのような違いがあるのかを比較し、肝臓癌が発症する背景にある免疫の仕組みを明らかにすることを目的としています。<br>本研究では、大阪大学微生物病研究所・ゲノム解析室に遺伝子発現解析を依頼します。委託先では、研究用 ID を付した分離免疫細胞を用いて遺伝子発現解析を行います。氏名等の直接個人を識別できる情報および対応表は提供しません。 |
| 研究を行う期間 | 機関の長の実施許可日 ～　2031年6月 |
| 研究協力をお願いしたい方（対象者） | 1. 大阪公立大学が代表機関として実施している「慢性肝疾患と腸内細菌叢との関連を探索する研究（大阪公立大学承認番号：3722、九州大学病院許可番号：24119）」にご協力いただいた方<br>2. 2023年6月12日～2026年3月31日の期間、九州大学病院で肝疾患に対して肝切除を施行された症例 |
| 協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目 | 大阪公立大学が代表機関として実施している「慢性肝疾患と腸内細菌叢との関連を探索する研究（大阪公立大学承認番号：3722、九州大学病院許可番号：24119）」でご提供いただいた肝組織から分離・凍結保存されている免疫細胞と診療情報を本研究に使用させてください。 |
| 試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称 | 以下の機関が御提供いただいた試料と情報を本研究に利用いたします。<br>【研究責任者】<br>公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 病態生理学 大谷直子<br>【委託先】大阪大学微生物病研究所・ゲノム解析室 |
| 個人情報の取り扱い | この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータや肝組織から分離された免疫細胞は、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。<br>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。 |
| 本研究の利益相反 | 本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。<br>本研究は、科学研究費補助金（研究代表者：大谷直子、研究課題名:「脂肪性肝炎関連肝がんにおける免疫疲弊特異性の解明：脂質と Tpex に着目して」） を使用し実施します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| 研究に協力をしたくない場合 | 診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。 |
| 連絡先 | 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 病態生理学<br>担当者氏名：大谷直子<br>電話番号：（06）6645-2121 |